

ビーバートン学校区では、全ての生徒、職員、ご家族の皆様を受け入れる、安全で包括的な学習環境を提供することに努めています。私たちは世界中からの生徒を歓迎し、教育します。入学・編入手続きの際に、移民ステータスに関する情報の収集をすることはありません。

警察などの法執行機関から生徒へのアクセス、または生徒情報へのアクセスを求められた際には、学校区には具体的な手順、方針、法律が存在します。学校区職員は、オレゴン州改正条項 (ORS) 181A.820(1)に従い、連邦移民法執行の目的で学校区の情報を使用することを禁じられています。

学校での生徒へのアクセス

親/保護者の許可なく、生徒を誰にも受け渡すことはできません。学校区は、生徒の教育が不必要に中断されず、権利が保護されていることを確認するため、個々の生徒とその親/保護者の皆様に責任を負います。

- **教育委員会規則 KN/KNA は、学校区と他の政府機関との関係について述べています。**

警察や移民局などの法執行官が学校にて就学時間中に生徒にインタビュー、拘禁または拘留する必要がある場合、その問題が学校に関連しているかどうか、状況の重大さ、または生徒を拘束するための礼状または召喚状があるかどうかについて特別な配慮が必要である。相手の身分証明書を求めること。校長は Legal Counsel (学校区専属弁護士) へ連絡して援助を求めること。

- 生徒に会う前に、生徒の親/保護者に連絡し面接の許可を得るのは警察の責任です。この目的のため、学校職員は親/保護者の電話番号を法執行機関職員に渡すことがあります。ただし、保護者が事前にディレクトリー (生徒名簿) への情報記載を拒否している場合は、電話番号を渡しません。

注意: 警察は **“No Notice/Emergency Circumstances Form”** という用紙 (オンラインにて Policy KN/KNA-AR としてオンラインにてご覧になれます) に記入しサインする必要があります。校長は Legal Counsel (学校区専属弁護士) へ連絡して援助を求めること。面接または拘留は、これらの条件が満たされ、弁護士への相談がない限り実施しません。

生徒に関する情報へのアクセス

生徒に関する全ての個人情報、州および連邦政府のプライバシー法により保護されています。これらの法律によって保護されている生徒の記録は、以下の状況下でのみ調査または公開されることがあります。

- 未成年の生徒の親/保護者より書面での許可がある場合
- 成人 (18 才以上) の生徒より書面での許可がある場合
- 裁判所命令または召喚状がある場合
- 健康または安全に関わる緊急事態

法的機関の職員による生徒の記録に関する全ての要求は、学校区専属弁護士へ相談の上、弁護士と校長が書類や記録を公開できるか決定します。